

みなかみ町立藤原小学校 学校だより



# みなもと

第13号 令和5年11月14日(火)

## 開かれた学校作りを目指して

## 第3回学校運営協議会



10月27日(金)に第3回学校運営協議会を行いました。当日は、「給食試食会」「学校・保護者・地域協働セミナー」「授業参観」「奉仕作業」について、学校での運営の様子を、学校運営協議会の皆さんや保護者の皆さんに見ていただいたり、参加していただいたりしました。給食は、みなかみ町給食センター栄養士の説明を聴きながら試食していただきました。運営委員の皆様から、「原材料費」や「塩分量」などの質問が出されるなど、熱心な質疑応答が交わされていました。「セミナー」では、思春期の子どもとの適切な関わり方についての講義を聞いていただきました。家庭だけでなく、地域で子ども達と交流する際の、参考にさせていただけるとありがたいと思っています。授業参観では、児童の学習の様子や教師の指導の様子を熱心に見ていただきました。

参加した運営委員の皆様からは、給食試食では、「おいしかった、小学生で材料費を260円かけているのはすごい」、「とてもおいしかった。たくさんのおかずを一度に食べられる給食はとてもありがたい」、「引き続き安心安全な給食をお願いします」などの意見をいただきました。また、セミナーでは、「子どもの思春期、親の更年期、どちらもホルモンバランスの変化なことも分かって勉強になりました」、「孫がまさに思春期なので参考にさせていただきます」などの意見をいただきました。今後も、児童のよりよい健康作りや、児童と家庭・地域との円滑な関係作りを、学校と一緒に考えていただきたいと思います。引き続き、ご理解・ご協力を、お願いいたします。

## 郡小中学校児童生徒音楽祭

## 4年ぶりに開催



11月8日(水)に、沼田市にある利根沼田文化会館にて、利根郡小中学校児童生徒音楽祭が開催されました。利根郡の小中学校を午前と午後の2部に分けて、各校の合唱や合奏などを発表し合います。新型コロナウイルスの感染防止対策のため昨年度まで中止されていた行事で、開催は実に4年ぶりとなります。

藤原小学校が発表するのは合奏「大利根源流太鼓」です。朝から緊張していた様子でしたが、本番では、迫力ある太鼓の音を会場に響かせてくれました。

いまだに、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行が見られるため、当日は保護者などの入場はなく、引率者と児童のみの観覧となりました。また、会場内での写真撮影やビデオの撮影も制限されていました。子ども達は、各校の特色ある発表を聞き、音楽の言葉の通り、音を楽しめたようでした。次ページに、低学年児童の感想を掲載します。

## 【音楽祭の感想（低学年）】

### 1年 前原湖景

「はじめておんがくさいにでました。たいこをおぼえるのがたいへんでした。むずかしかったけどほんばんは、たのしかったです。おかあさんとおとうさんにもきかせてあげたかったです。二ねんせいになったら、あたらしくはいつてくるおともだちにもおしえてあげます。もっとじょうずになりたいです。またらいねんもがんばります」

### 2年 中島湖々空

「わたしは、水曜日にとねぐん小・中学校じどう・生と音楽さいに出ました。わたしは、はじめての音楽さいだったので、すこしきんちょうしました。わたしたちがはっぴょうしたのは、大とねげんりゅう太こです。大ぜいの人たちの前でやったのですこしっばいしてしまいました。もう一回たいこのはっぴょうがあるので、そこのはっぴょうでは、せいこうさせられるようにがんばりたいです。ほかの学校や中学校もすごいじょうずだなと思いました。いっばいれんしゅうしたのですこしだけうまくいきました。今日まちがえたところやしっばいしたところは、つぎのふじ原さいに生かしたいとおもいました。らい年は中くらいのたいこになるとおもうので、がんばりたいとおもいました。」

### 3年 前原後山

「今日は、藤原小にかよってはじめての音楽祭に行きました。藤原小のステージよりも倍あってびっくりしました。僕たちは、7番目に発表しました。二ヶ月くらいの練習を重ねてきた成果を、思いっきりはたいたのです。すっきりしました。すこしまちがえたところもあったけど、よくがんばったと思いました。水上小や月北小など、している子や小学校がありました。どれも、いっしょうけんめいがんばったという気持ちが、すごかつたわかりました。とても楽しかったです。藤原祭でもがんばろうと思います。」

## よりよい授業を目指して

## 授業改善のための研究会を実施中



11月10日（金）に、指導主事訪問Bが行われました。

この指導主事訪問Bとは、学校の研究テーマに沿って工夫した授業の様子を、教育委員会の指導担当者に見ていただき、その指導の下で、授業改善や学校教育力の向上等を図るために行われるものです。

今年度、藤原小では道徳科の指導に視点をあて、「他者の考えと比較しながら、考えを広げたり深めたりすることの出来る児童の育成」を目指した実践研究を進めています。9月から11月まで、全担任が一人ずつ授業を公開し、その後の研究会でよりよい授業作りについての校内での協議を行いました。



また、11月13日（月）には、みなかみ町の学校関係職員で組織する三国会において、桃野小学校、水上小学校を会場校として、授業研究会が行われました。こちらでは、みなかみ町の全教員が集まって授業を参観し、会場校の研究テーマに沿って授業改善についての協議を行いました。

昔から変わらず大切にされている指導もあれば、社会の変化に合わせて取り入れて行かねばならない革新的な指導もあります。学校の理念として「不易

流行」は欠かせないものです。その理念の下、教職員一人一人の職の成長を図ることは、児童の成長に直結する大切なものとなります。藤原小学校では、児童のよりよい成長を目指して、今後も研究を進めてまいります。お時間がありましたら、ぜひ、授業の様子をご覧ください。